

学校関係者評価報告書

東海医療科学専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人セムイ学園 東海医療科学専門学校 学校関係者評価委員会は「平成28年学校自評価表」の結果に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

「学校関係者評価」の実施方法について

学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施し、学校関係者評価委員に評価していただいた。学校自己評価表（平成28年版）と併せてご覧ください。

- 1 実施日：平成29年9月30日
- 2 学校関係者評価委員
(1) 学校関係者評価委員

学科	構成	氏名	所属先・役職等
臨床工学科	卒業生父兄	齋藤友久	医療法人 仁聖会 碧南クリニック 事務長
臨床工学科	卒業生父兄	林屋裕二	臨床工学技士
臨床工学科	病院・施設 卒業生	山田賢太郎	医療法人いつき会 いつきクリニック一宮 臨床工学技士部長
理学療法科	病院・施設	熊澤 輝人	愛知県理学療法士会 理事
言語聴覚科	病院・施設 卒業生	加藤由理	医療法人 明和会 辻村外科病院 言語聴覚士
作業療法科	病院・施設 卒業生	内山貴博	医療法人並木会 並木病院 作業療法士
柔道整復科	病院・施設 卒業生	加納崇希	若田接骨院 柔道整復師

(2) 出席教職員一覧

氏名	所属・職名
藪本 恭明	東海医療科学専門学校 校長
鈴木 武	学校法人セムイ学園 理事、総務部長
近藤 達也	東海医療科学専門学校 教学部長、理学療法科 学科長
田中 敏彦	東海医療科学専門学校 教学部長補佐、作業療法科 学科長
中村 新一	臨床工学科 学科長
鬼頭 宏	柔道整復科 学科長
山田伊久子	言語聴覚科 学科長
太田晃二	学校法人セムイ学園 総務部 総務課長

3 委員会次第（概要）

(1) 開 会

(2) 校長挨拶

(3) 委員長の選出

評価委員全員のご了承をいただき、藪本校長を委員長に選出した。

(4) 平成28年度自己評価報告

出席教職員から「平成28年度 学校自己評価表」の点検・評価項目達成状況及び取組状況について、課題及び改善策等を報告した。

(5) 学校関係者評価委員による意見、提言等

基準1 教育理念・目的・育成人材像

(意見、提言)

・意見等は特になかった。

基準2 学校運営

(意見、提言)

- ・現時点で解決すべき問題点が見受けられるが、それらを分析して目標管理制度の定着化、毎月の運営会議等で将来のビジョンを見据えながら管理運営されている。学科長のぶれない信念を基本に教職員力を合わせて進んでいただきたい。

基準3 教育活動

(意見、提言)

- ・目標人材像をしっかりと立て、学生に示し達成に努めているところは評価できる。勉強会や施設の研修会を取り入れ、業界の情勢に合った教育を継続していただきたい。
- ・教育において、重要な点として、国家試験の合格と卒後の進路の安定だと言える。授業内容は国家試験の対策はもちろんのことですが、授業内容が卒後の臨床現場でどのように役立つのかを実感できるような実践的な授業に取り組んでいただきたい。

基準4 学修成果

(意見、提言)

- ・言語聴覚科での国家試験対策として成績の良い学生に依頼し、勉強を見てもらうとの説明があったが、教える学生の負担はどうか、どう思っているのか等注意を払う必要があると思われる。
- ・臨床工学科の様に入学前よりプログラムを実施し、学力の向上をはかることは可能なならば、他の学科でも行った方がよいのではないか。それは最終的には国家試験合格率の向上や判らなくなって中退する学生の減少につながるのではないか。又、全ての学科で実習があることから、対人コミュニケーションのスキルを上げるプログラムもあれば必要ではないか。
- ・全学科とも中退者に対し、早期の対応がなされている。今後も生徒たちに、こまめにコミュニケーションをとり、中退者の減少に努めていただきたい。また、国家試験も100%を目指し、頑張っていたいただきたい。

(取組状況、改善策等)

- ・国家試験対策について
グループ学習の内容は話し合いで決めている。その中で成績の良い学生に依頼しているが、勉強日や時間等、負担にならないように教員が配慮している。グループによって、やり方は違っているが、全員の学習方法等、把握するようになっている。
- ・入学前の学習について
学科によっては、入学前セミナーとして解剖学(筋骨格系)の基礎を授業形式で行い、確認テストを行っている。AO入試の生徒対象や全入学生対象のセミナー等、学科によって実施方法は様々であるが、全学科で実施できるように準備を進めている。

基準5 学生支援

(意見、提言)

- ・保護者会の開催、メール配信など引き続き学生支援の拡充に努めていただきたい。

基準6 教育環境

(意見、提言)

- ・意見等は特になかった。

基準7 学生募集

(意見、提言)

- ・学生募集に関して SNS の活用、オープンキャンパスの高校2年生向けの特別プログラムを考えたり、オープンキャンパスのプログラムも改善したりして、よく努力されていて大変良いと思いました。
- ・高等学校などへの情報提供の取り組みは、きちんと行われているかと思いますが、学校側からの説明にも少しあったように、年々入学者数が減少してきていることが気になります。
- ・言語聴覚科は入学者が減少している。来年度に向けての対策を考えなければならないと思う。

(取組状況、改善策等)

- ・平成28年度 言語聴覚科の国家試験合格率は95.8%(全国平均75.9%)と高い合格率を達成した。また、雇用セーフティネット対策訓練の受託や専門実践教育訓練給付制度の適用更新により公的制度を活用することで経済的な負担が少なく学習できる環境が整い、志願者の大幅な増加に繋がっている。今後は、公的制度がなくとも同学科を選んでもらえるような特長作りを考えていく。

基準8 財務

(意見、提言)

- ・企業努力の結果、単年黒字を維持している。また、学校の統合等でスマート化を図っている。外部監査機関が介入されていてより良いアドバイスや、不正防止策がされている。人件費率が比較的高いことも把握されていてマニュアル化して見える化策を考えている。今後、施設の老朽化対策のため事前準備をするとよい。

(取組状況、改善策等)

- ・施設の老朽化対策として修繕計画、予算案を策定し進めていく方針である。

基準9 法令等の遵守

(意見、提言)

- ・特に意見等はなかった。

基準10 社会貢献

(意見、提言)

- ・特に意見等はなかった。

以上